

「進んで みんなで 最後まで」 宗像の郷「中央学園」

学校通信

創立112年

# 南郷



南ちゃん・郷くん・小子ちゃん

令和5年学年末号

令和5年3月24日  
宗像市立南郷小学校  
児童数 242名  
校長 大淵 裕三子

## ハッピーサプライズあふれる、感動の「卒業式」



3月17日に卒業式が行われました。心配していた雨も、卒業生を祝うために待ってくれて、全員そろっての晴れやかな式となりました。

今回は、学校関係者の皆様（学園運営協議会の皆様）に参加して頂くことができました。

中央中の南教頭から「一人一人の証書をもらう所作に、気持ちがこもっている事、これが最後なんだという思いが伝わってきました。」という言葉

頂くほど、校長をまっすぐに見つめるまなざしに、胸が熱くなりました。呼びかけにも、今までの感謝の気持ちがこもっており、短い時間でも感動する式となりました。

また、二部の学級でのお別れも体育館で行いました。これは、感謝の気持ちを伝えるサプライズがいくつにも仕掛けられていて、会場内の全ての人の心が温まる時間となりました。地域の皆様、保護者の皆様だけでなく、私にまでサプライズを頂き、幸せな時間となりました。



【地域の方への感謝状】

そして最後のサプライズは、大好きな担任へのサプライズ。メッセージだけでなく、「ミニ結婚式」まで準備していました。進行、案内、ケーキ入刀の係…これには担任も本当に驚いていました。子供達の企画力、実行力に感動しました。

きっと子供達にとっても担任にとっても忘れられない「宗像一楽しい卒業式」になったことでしょう。卒業生がこれからもジュニアサポーターとして活躍してくれるのが楽しみです。



【びっくりメッセージカード】

## ステキなお花をありがとうございました。



南郷コミセンより今年も素敵なお花を頂きました。卒業式と入学式で花道を飾らせていただきます。ありがとうございました。

## 文科省表彰と最後の協議会！

中央学園運営協議会の取組が評価され、文科省表彰を受賞したことはすでにお知らせしておりましたが、表彰式の様子と、今年度最後の学園運営協議会の様子と合わせて報告させていただきます。

「進んで みんなで 最後まで」頑張る児童生徒の育成を目指して、生み出した「サポート本部」の取組が、今年度はジュニアサポーターに広がりを見せ、今後の新たな可能性を見出しています。今後、中央学園の大人の絆もさらに広がり、深まっていくことでしょう。



【協議会会長内田様と協議委員の皆様】



【山下会長とサポートリーダーの皆様】

## 異動する教職員

## お世話になりました。

- 校長 大淵 裕三子
- 教諭 牟田 順子
- 事務 亀井 寿子
- 事務補佐 太刀掛 美佐子
- 特別支援教育支援員 吉田 珠美
- 主幹教諭 石川 聡
- 教諭 花崎 紫
- 学園指導主事 北村 昌一
- 学力向上支援教員 徳永 泰子

コロナにおける休業期間からスタートした3年間でした。行き届かない面も多々あったと思いますが、PTA 役員の皆様、保護者の皆様、そして地域の皆様のご理解とご協力のおかげで、「宗像一楽しい学校」の実現のために全力を注ぐことができました。コロナ禍でも、形を変え、工夫しながら子供達の心を育む体験ができましたのも、皆様のおかげです。本当にありがとうございました。今後、子供達の益々の成長を心からお祈りしております。(大淵裕三子)